

トンネル補修工(突発性崩壊対策工)

制定・改定日 2025.1.23

| 項 目 | 内 容 | 留 意 事 項 |
|------------|---|---|
| 準 備 工 | <ul style="list-style-type: none"> 作業打合せ(KY活動) 規制及び作業内容等の確認 車両の運行前点検 回送、規制内流入 現場状況、ケーブル状況の確認 作業車の据え付け | <ul style="list-style-type: none"> 安全打合せ書により確認及びKY活動実施 作業員全員へ注意事項等の周知徹底 作業別安全チェックシートの活用 作業車の安全装置の確認 ケーブルの防護 |
| 既設漏水防止撤去工 | <ul style="list-style-type: none"> 撤去する既設漏水シートの位置を確認 インパクトドライバーを用いてボルトを取り外し撤去 | <ul style="list-style-type: none"> 高所作業車使用時にケーブルラック等に接触しないよう注意をする。 インパクトドライバーを用いてボルトを取り外し撤去する事を前提とするが、ボルトが欠損し、インパクトドライバーでの取り外しが困難な場合は、ディスクサンダー等で切断し撤去する。 ディスクサンダー使用時は、火災検知器のシステム停止連絡を一宮管制に入れ火災検知器に目隠しをする。 ディスクサンダー使用時はケーブルに接触しないように注意をすること。 ディスクサンダー使用時は、保護具を着用しキックバックに注意。 ディスクサンダー使用時は、ケーブルに耐熱性のある防護カバーを着用すると共に燃えやすいものを近くに置かない。消化器も付近に準備しておく。 高所作業時は墜落制止用器具を着用すると共に、はさまれん棒の設置も行う。 |
| 樹脂塗布工 | <ul style="list-style-type: none"> ひび割れ表面から刷毛又はローラーにて樹脂を塗布。 ひび割れの幅と長さを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> 樹脂の塗布幅はひび割れを中心に約50mm程度とする。 高所作業時は墜落制止用器具を着用すると共に、はさまれん棒の設置も行う。 高所作業車使用時にケーブルラック等に接触しないよう注意をする。 |
| 炭素繊維シート接着工 | <ul style="list-style-type: none"> 施工範囲の漏水の有無を確認する。 ウォータージェット工法にて下地処理を行う。 200g目付の炭素繊維を2層接着する。 | <ul style="list-style-type: none"> ウォータージェット使用時は保護具の着用をすること。 ウォータージェット使用時に一般車に水等が飛散しないようにシート養生をするとともに吸引車による吸引を行う。 高所作業時は墜落制止用器具を着用すると共に、はさまれん棒の設置も行う。 高所作業車使用時にケーブルラック等に接触しないよう注意をする。 ウォータージェット使用時は、ケーブルに耐水性・耐衝撃性のあるカバーにて防護。 ボンドは原則とし5℃以上にて使用。 |
| 新規漏水防止設置工 | <ul style="list-style-type: none"> 図面と現地状況を確認し、新規漏水シートを設置する。 フラットバーとアンカーボルトを使用して固定する。 | <ul style="list-style-type: none"> 高所作業車使用時にケーブルラック等に接触しないよう注意をする。 高所作業時は墜落制止用器具を着用すると共に、はさまれん棒の設置も行う。 |
| 片付け | <ul style="list-style-type: none"> 現場内および周辺に残材が残らぬよう清掃する 使用した資機材をトラックに積み込む 清掃終了後は、責任者が必ず現場を確認し撤収する 規制流出、回送 | <ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 車両からの飛散防止対策(ネット、資機材の固定)がされているか確認する。 車両の荷台シートやネットの上などの車両上に資機材等の置忘れがないか確認を行う。 |

| 作業編成(標準) | | 機材 | | 資材 | | 安全器具・保護具 | |
|----------|------|---------|------------|-----------------------------|----------------|-------------|--------|
| 作業責任者 | 1名 | 高所作業車 | 連絡車 | TXシート | ひび割れ塗布材(AT388) | ヘルメット | フルハーネス |
| 現場監視員 | 1名 | トラック | ウォータージェット | フラットバー | | 反射(自発光)チョッキ | しらすんだー |
| 作業員 | 4~6名 | ダンプトラック | インパクトドライバー | ゆるみ止めKナット | | 警笛 | 防塵マスク |
| | | 発電機 | ディスクサンダー | トレカクロス | | 手袋 | 耐切創手袋 |
| | | 攪拌機 | | ボンド(E395、E810L、E2500、UコートF) | | 保護メガネ | はさまれん棒 |

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 機械作業は、有資格者が必ず行う。(免許・資格証は必ず携帯する)
- 機械の操作方法、安全装置の確認を充分行うこと。
- 作業に合った保護具を使用する。(保護メガネ・防塵マスク・耐切創用手袋等)
- 消火器を設置する。
- 一人作業の禁止
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 作業で使用しない工具は、発電機を切るかコンセントを抜き、誤作動がおこなないようにする。